SONY

4-292-515-**04**(1)

メモリーカード
レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICD-LX30

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止



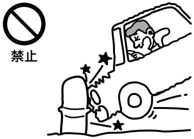
ぬれ手禁止　接触禁止

⚠警告



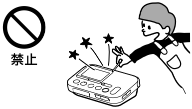
下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない



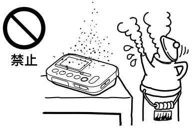
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない



火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



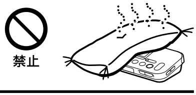
感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない



感電の原因となることがあります。

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない



熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

目次

メニューについて

その他

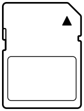
困ったときは

準備1：箱の中身を確認する

本体(1)



SDメモリーカード(2GB)(1)



ソニー単4形アルカリ乾電池(2)

キャリングポーチ(1)

ハンドストラップ(1)
本体に取り付けられています。

取扱説明書(本書)(1)

クイックスタートガイド(1)

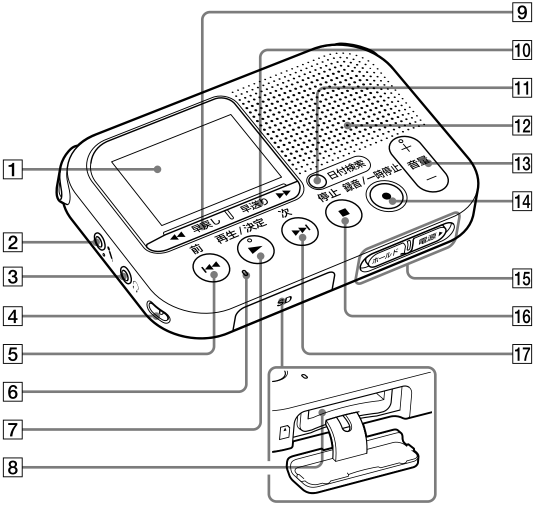
保証書(1)

上手な録音ガイド(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)



1 表示窓

2 (マイク)ジャック*1

3 (ヘッドホン)ジャック*2

4 ストラップ取り付け部*3

5 ⏮ 前ボタン

6 メモリーカードアクセスランプ

7 ▶ 再生/決定ボタン*1

8 メモリーカードスロット

9 ◀◀ 早戻しボタン

10 ▶▶ 早送りボタン

11 日付検索ボタン

12 スピーカー

13 音量＋*1/－ボタン

14 ● 録音／一時停止ボタン
（録音ランプ）

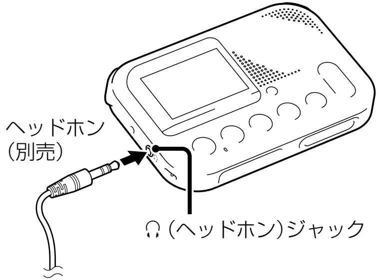
15 ホールド・電源スイッチ

16 ■ 停止ボタン

17 ▶▶I 次ボタン

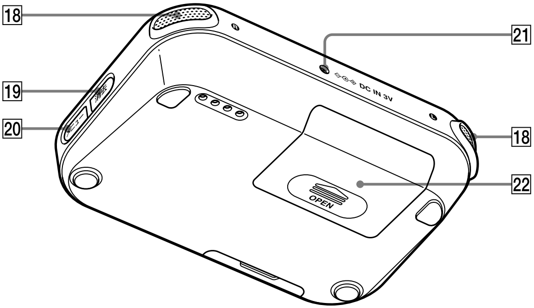
*1 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

*2 別売のステレオヘッドホンを 🎧（ヘッドホン）ジャックに差し込みます。雑音が入るときはヘッドホンのプラグをきれいに拭いてください。



*3 お買い上げ時にストラップが取り付けられています。

本体（裏面）



18 内蔵マイク

19 消去ボタン

20 メニューボタン

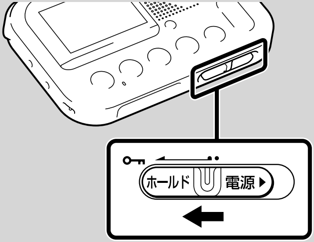
21 DC IN 3Vジャック

22 電池ぶた

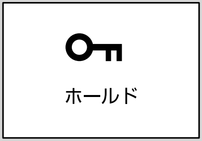
誤操作を防止する(ホールド)

電源を入れたままで、本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

本機をホールド状態にするには

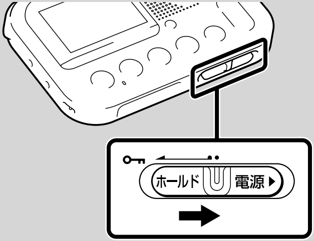


ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



ホールド中にボタンを操作した場合、「ホールド中 解除してください」が表示されます。

ホールドを解除するには

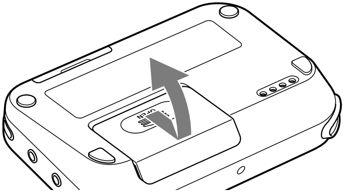


ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします。

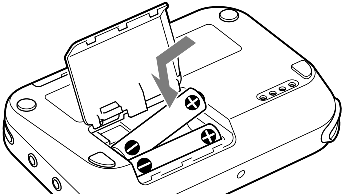
ご注意
録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

準備2：電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。



2 単4形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。



どちらの電池も⊖から先に入れてください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときには、時計設定画面が表示されます。「準備5：時計を合わせる」（18ページ）の手順に沿って時計を合わせてください。

ヒント
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルは消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約20日間、時計は動いています。

使用できる電池
- 単4形アルカリ乾電池
- 充電式ニッケル水素電池（別売）：NH-AAA-2BKB（本機での充電はできません。）

使用できない電池
- マンガン乾電池

ご注意

- 電池は電池のメーカーや種類によって性能のばらつきがあり、使用時間の目安に対して特に低温下では短くなる場合があります。
- 電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 長時間ご使用にならない場合は、電池の消耗を抑えるために、電池をはずしておくことをおすすめします。
- 別売のACアダプター AC-E30L使用時は、電池残量表示は表示されません。

電池を交換／充電する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

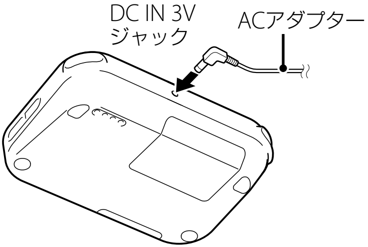
電池の残量表示

：電池の交換時期が近づいています。

↓

：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

家庭用電源につないで使う



長時間録音などをする場合は、家庭用電源（コンセント）を使うと、電池消耗の心配がなく便利です。
電池を入れたままACアダプターをお使いになる場合でも、ACアダプターから電源が供給されるので電池は消耗しません。

1 DC IN 3Vジャックに、別売のACアダプター AC-E30Lをつなぐ。

2 別売のACアダプター AC-E30Lをコンセントにつなぐ。

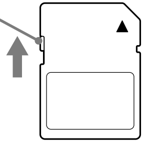
ご注意

- 録音中（録音ランプが赤に点灯中）や記録中（メモリーカードアクセスランプがオレンジに点滅中）はACアダプターや電池、メモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。なお、ファイル数が多いと、「しばらくお待ちください」の画面が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
- 必ず推奨ACアダプター（AC-E30L）をお使いください。推奨以外のACアダプターを使用すると本体が破損する場合があります。

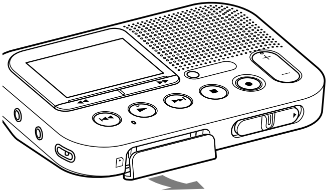
準備3：メモリーカードを入れる

ご注意
本機は内蔵メモリーを搭載していないため、お使いになる前には必ずメモリーカードを挿入してください。

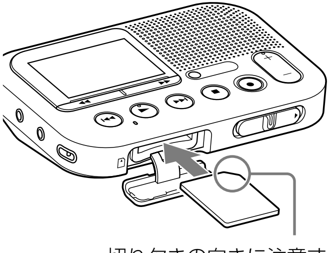
メモリーカード上のロックスイッチがロック（書き込み禁止）状態になっていると録音できません。
ロックが解除されていない場合は、矢印方向へロックスイッチをスライドさせて解除してください。



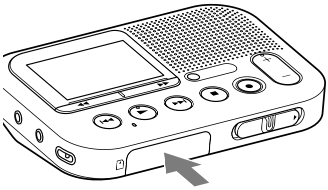
1 停止中にメモリーカードスロットのカバーを開ける。



2 メモリーカードをメモリーカードスロットに、カチッと音がする奥までしっかり差し込む。



3 メモリーカードスロットのカバーを閉める。



ご注意

正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

メモリーカードを取り出す

メモリーカードアクセスランプが消えていることを確認し、メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

ご注意

- 録音／再生／フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「しばらくお待ちください」の画面が表示されている間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットのカバーは、しっかり閉じてください。また、挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本機で使用できるメモリーカード

本機では、市販のSD/SDHC/microSD/microSDHCメモリーカードもお使いになれます。

ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカード	対応
SDメモリーカード(～ 2 GB)	○
SDHCメモリーカード(4 GB ～ 32 GB)	○
SDXCメモリーカード(48 GB以上)	×
microSDメモリーカード(～ 2 GB)	○
microSDHCメモリーカード(4 GB ～ 32 GB)	○

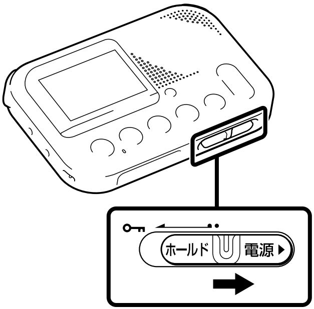
本書では、SDメモリーカードとmicroSDメモリーカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。
また、SDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。
メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズは本機の仕様上、1ファイルにつき1 GB未満（本機で録音した場合約11時間10分）です。
1枚のメモリーカードには、最大4,074件のファイルを記録できます。

ご注意

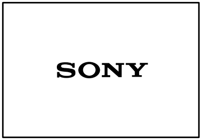
- microSDもしくはmicroSDHCを使用する場合は変換アダプタが必要です。
- 64MB以下または、32GBを超えるメモリーカードについては対応しておりません。

準備4：電源を入れる

電源を入れる

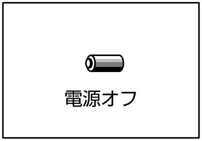


画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままにすると、電源が入ります。



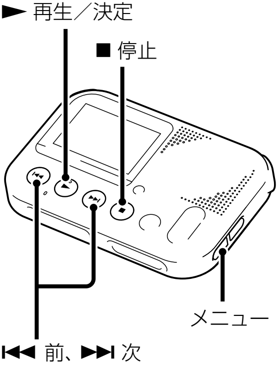
電源を切る

「電源オフ」の画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままにします。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。
停止中に30分以上本機の操作がない場合は、自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。



ヒント
長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。

準備5：時計を合わせる



時計を合わせると、録音した日時を記録できます。また、日付ごとでの検索が可能になり、録音後に録音ファイルを簡単に見つけることができるようになります。
時計合わせをしないと、録音ファイルが「日付情報なし」となり、指定のファイルを見つけづらくなります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま約20日間以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定しますか？日付での検索が可能になります」のメッセージが表示されます。⏮前 または⏭次 ボタンを押して、「はい」を選択し、► 再生／決定ボタンを押します。
時計設定画面が表示され、年表示にカーソルがあたります。
次の手順で時計を設定してください。

1 年を合わせる。

⏮前 または⏭次 ボタンを押して、数字を選び、► 再生／決定ボタンを押す。



► 再生／決定ボタンを押すと、月表示にカーソルが移動します。

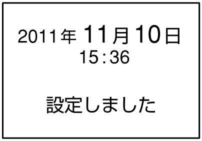
2 手順1と同様に、月日と時分を合わせる。

⏮前 または⏭次 ボタンを押して、数字を選び、 ► 再生／決定ボタンを押して、月、日、時、分の順で設定します。

間違えた日時を設定してしまった場合は、メニューボタンを押して一つ前の設定に戻ります。



分まで設定すると「設定しました」のメッセージが表示されます。

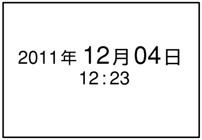


ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、停止画面が表示されます。

現在日時を表示するには

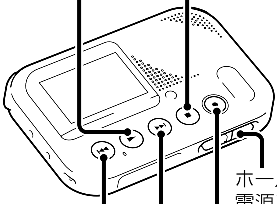
停止中に ■ 停止ボタンを押すと、現在日時が約3秒間表示されます。



メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。メニューボタンを押して、メニューモードに入り、「時計設定」を選びます（37ページ）。

録音を始める



録音ボタンを押すだけで、録音が開始されます。前に録音したファイルは消去されません。また、録音レベルは自動で設定されます。また、録音したものをすぐ再生したいときは、巻き戻しをする必要はなく、再生ボタンを押すだけで直前のファイルを再生することができます。

ご注意

- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（12ページ）を確認してください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。
- 録音中はメモリーカードを抜かないでください。
- 何も録音されていないメモリーカードを挿入した場合は、画面に「録音してください」のメッセージが表示されます。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りすることをおすすめします。
- 録音の設定は、付属の「上手な録音ガイド」を参照してください。
- 録音レベルが低い場合は、本機を音源に近づけてみてください。

1 ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（10ページ）。

停止画面が表示されます。



2 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

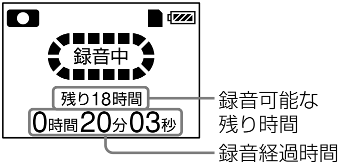


3 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音ランプが赤く点灯します。

● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しいファイルは自動的に一番最後に録音されます。

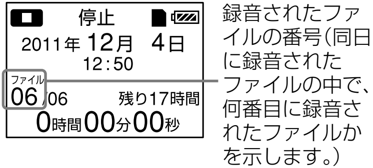


録音を止める

■ 停止ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」の画面が表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

録音したファイルは、後ほど日付検索（26ページ）で探して再生できます。



記録中のご注意

画面上に「しばらくお待ちください」の画面が出ている間、またはメモリーカードアクセスランプがオレンジに点滅している間は、メモリーカードへ録音データを記録しています。記録中はメモリーカードを抜いたり、電源を切らないでください。データが破損するおそれがあります。

録音を一時停止するには

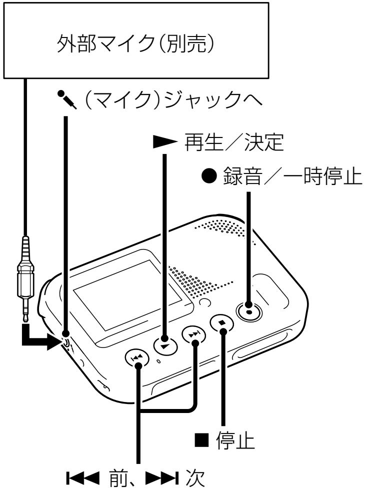
● 録音／一時停止ボタンを押します。
録音一時停止中は録音ランプが赤く点滅し、「録音経過時間」表示と録音一時停止のアイコンが点滅します。
もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押すと、録音一時停止が解除され、録音を再開できます。
録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

本機で録音されるファイルはMP3形式になります。

接続して録音する

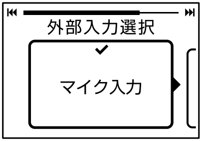
外部マイクをつないで録音する



1 停止中に別売の外部マイクを （マイク）ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。「外部入力選択」が表示されない場合には、メニューで設定してください（38ページ）。

2 |◄◄前 または►►|次 ボタンを押して、「マイク入力」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。



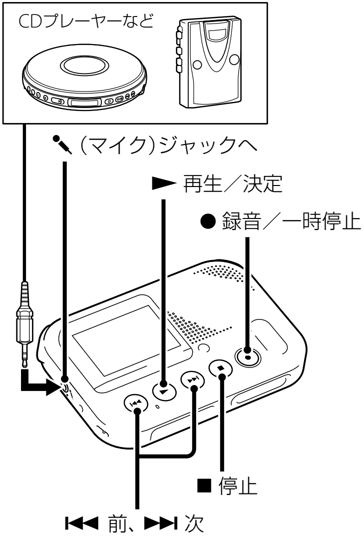
お買い上げ時は、「マイク入力」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

5 ■ 停止ボタンを押して、録音を停止する。

ほかの機器の音声を録音する

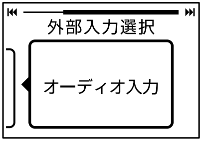


CDプレーヤーなどほかの機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、MP3ファイルを作成することができます。

ヒント
- 録音する前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- 録音した音が割れたり、小さすぎた場合は、ほかの機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

1 停止中にほかの機器を本機につなぐ。
ほかの機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のオーディオコードRK-G136（ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ）またはRK-G139（モノラルミニプラグ↔ステレオミニプラグ）を使って、本機の （マイク）ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。「外部入力選択」が表示されない場合には、メニューで設定してください（38ページ）。

2 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して、「オーディオ入力」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。



お買い上げ時は、「マイク入力」設定になっています。

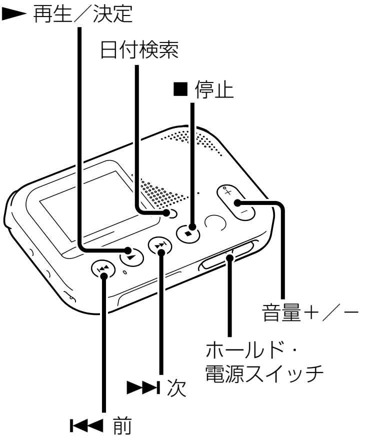
3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

5 つないだ機器で再生を始める。

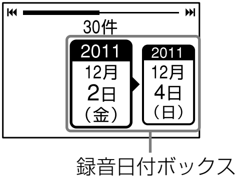
6 ■ 停止ボタンを押して、録音を停止する。

再生を始める

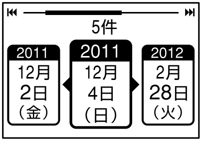


1 ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（10ページ）。
停止画面が表示されます。

2 日付検索ボタンを押して日付選択画面を表示する。



3 I◄◄前 または►►I次 ボタンを押して再生したいファイルを録音した日付を選び、► 再生／決定ボタンを押す。



ヒント

- 録音日付ボックスの中のファイルがひとつだけの場合は、手順5に進んでください。

- 日付情報のないファイルは「日付情報なし」ボックス内に保存されます。他機器で録音したMP3ファイルは♫ボックス、ポッドキャストファイルは◎ボックス内に表示されます。

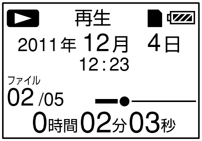
4 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。



録音されたファイルの番号/同日に録音された全ファイル数　録音開始日時

⏭次 ボタンを押すたびに、録音日付ボックス内の後ろのファイルが、⏮前 ボタンを押す度に前のファイルが選択されます。

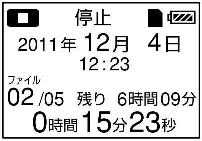
5 ► 再生／決定ボタンを押す。
すぐに再生が始まります。



6 音量＋／－ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。



今録音したばかりのファイルを聞く

録音後すぐに► 再生／決定ボタンを押します。
今録音したファイルのはじめから聞くことができます。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止するには

■ 停止ボタンを押します。

► 再生／決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの頭に戻るには

⏮前 ボタンを短く1回押す。

⏮前 ボタンを短く何回か押すと、前のファイル、さらに前のファイルに戻ります。（押したままにすると、連続して戻ります。）連続押しした場合、最初のファイルで「ピピピ」という操作音が鳴ります。それ以上は戻れません。

次のファイルに進むには

⏭次 ボタンを短く1回押す。

⏭次 ボタンを短く何回か押すと、次のファイル、さらに次のファイルに進みます。（押したままにすると、連続して進みます。）連続押しした場合、最後のファイルで「ピピピ」という操作音が鳴ります。それ以上は進めません。

ヒント

メニューの「操作音設定」が「オフ」に設定されている場合は、操作音は鳴りません。

高音質で再生するには

- ヘッドホンで聞く：
  別売のステレオヘッドホンを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

再生中に早送り／早戻しするには

- 早送り：
  再生中に ⏩早送り ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し：
  再生中に ⏪早戻し ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ送ったり、戻したりして聞きたいときに便利です。押し続け

ると、高速での早送り／早戻しになります。

💡最後のファイルの終わりまで再生または早送りすると

最後のファイルの終わりまで来ると、「おわり」表示が約5秒間点灯します。

画面表示について



1 本機の動作状態
本機の動作状態をアイコンと文字で表示します。

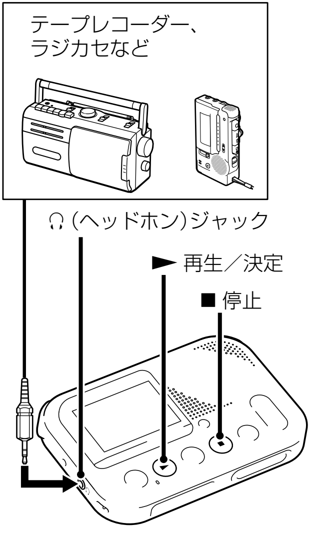
2 録音開始日時
録音開始日時を表示します。

💡ヒント
他機器で録音したファイルの場合、1段目にフォルダ名、2段目にファイル名が表示されます。

3 ファイル情報表示
録音されたファイルの番号（同日に録音されたファイルの中で、何番目に録音されたファイルかを示します。）／同日に録音された全ファイル数

4 現在ファイルの経過時間／バー
再生中のファイルの経過時間を、時間とバーで表示します。

本機の音声をほかの機器で録音する



ほかの機器で本機の音声を録音できます。

録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の ∩（ヘッドホン）ジャックとほかの機器の外部入力端子を、別売のオーディオコードRK-G136（ステレオミニプラグ⟷ステレオミニプラグ）またはRK-G139（モノラルミニプラグ⟷ステレオミニプラグ）を使ってつなぐ。

2 本機の ► 再生／決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

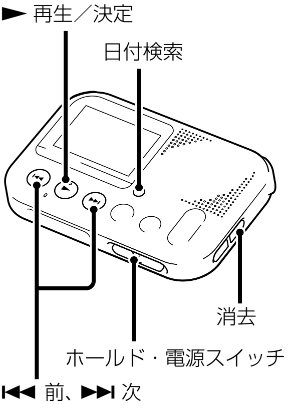
本機のファイルがほかの機器に録音されます。

3 録音を止めるには、つないだ機器の停止ボタンを押し、本機の ■ 停止ボタンを押す。

ヒント

録音した音が割れたり、小さすぎた場合は、本機の再生音量を調節してください（27ページ）。

ファイルを消去する



ご注意

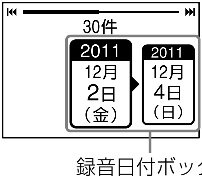
- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 消去中はメモリーカードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。

1 ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（10ページ）。

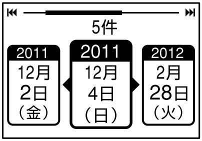
停止画面が表示されます。



2 日付検索ボタンを押して日付選択画面を表示する。



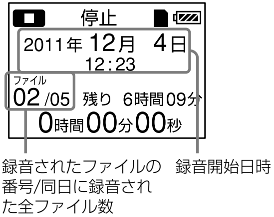
3 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して消去したいファイルを録音した日付を選び、► 再生／決定ボタンを押す。



ヒント

- 録音日付ボックスの中のファイルがひとつだけの場合は、手順5に進んでください。
- 日付情報のないファイルは「日付情報なし」ボックス内に保存されます。他機器で録音したMP3ファイルは♫ボックス、ポッドキャストファイルは◎ボックス内に表示されます。

4 I◀◀前 または▶▶I次 ボタンを押して、消去したいファイルを選ぶ。

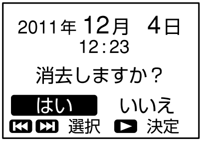


▶▶I次 ボタンを押すたびに、ボックス内の後ろのファイルが、I◀◀前 ボタンを押す度に前のファイルが選択されます。

5 消去ボタンを押す。

「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

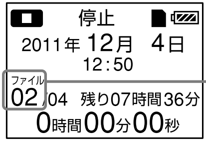
6 I◀◀前 または▶▶I次 ボタンを押して、「はい」を選ぶ。



7 ▶ 再生／決定ボタンを押す。

「消去中...」の画面が表示され、ファイルが1件消去されます。

ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。



2番のファイルが削除され、以降のファイルが繰り上がり、同日に録音されたファイルの数が5から4に減ります。

途中で消去をやめるには

「ファイルを消去する」の手順6で「いいえ」を選び、► 再生／決定ボタンを押す。

ほかのファイルを消去するには

「ファイルを消去する」の手順2から手順7を繰り返します。

録音したばかりのファイルを消去する

1 録音後すぐに消去ボタンを押します。

「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

2 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して、「はい」を選ぶ。

3 ► 再生／決定ボタンを押す。

「消去中...」の画面が表示され、ファイルが1件消去されます。

録音日付ボックス内のすべてのファイルを消去する

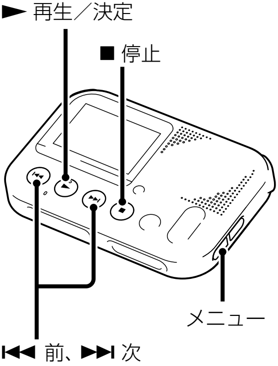
1 「ファイルを消去する」の手順2で⏮前 または⏭次 ボタンを押して消去したい録音日付ボックスを選び、消去ボタンを押す。

2 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して、「はい」を選ぶ。

3 ► 再生／決定ボタンを押す。

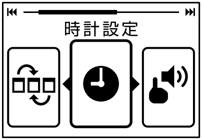
「消去中...」の画面が表示され、録音日付ボックス内のすべてのファイルが消去されます。

メニューの使いかた

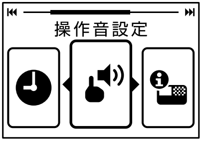


1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

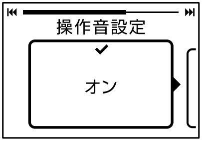
メニュー画面が表示されます。



2 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して、設定したい項目を選び、► 再生／決定ボタンを押す。



3 ⏮前 または⏭次 ボタンを押して選択し、► 再生／決定ボタンを押す。



4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

メニューモードで60秒以上操作のない状態が続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にメニューボタンを押します。

メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンを押します。

メニュー一覧

メニュー	動作モード （○：設定可能 －：設定不可）		
	停止中	再生中	録音中
日付整理	○	－	－
時計設定	○	－	－
操作音設定	○	－	－
本体情報	○	－	－
外部入力選択	○	－	－
フォーマット	○	－	－

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
日付整理	本機で録音、消去を繰り返したあとに日付整理を行うと、メモリーカードのデータ領域を効率的に使用できることがあります。また同時に日付順になっていないファイルを日付順に並べかえます。 ① メニューボタンを押して、メニューモードに入り、「日付整理」を選び、► 再生／決定ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 ② ⏮前 または⏭次 ボタンを押して、「はい」を選び、► 再生／決定ボタンを押します。 「日付整理中…」のメッセージが表示され、日付整理が完了すると「日付整理が終了しました」のメッセージが表示されます。 **ご注意** • 日付整理には時間がかかることがあります。 • 日付整理中はメモリーカードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。 • 日付整理ができないファイルがあった場合には、手順②実行後に「いくつかのファイルが整理できませんでした」のメッセージが表示されます。	–
時計設定	録音した日時を記録し、日付検索機能を使うために、時計を合わせます。 ① メニューボタンを押して、メニューモードに入り、「時計設定」を選び、► 再生／決定ボタンを押します。 ② ⏮前 、⏭次 ボタン、► 再生／決定ボタンを押して、年、月、日、時、分の順で時計を合わせます。 分まで設定すると「設定しました」のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。	18

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
操作音設定	確認音を設定します。 オン*：　操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ：　操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。	－
本体情報	以下の本体情報を表示します。 本機の型名、本体ソフトウェアのバージョンを表示します。	－
外部入力選択	（マイク）ジャックから録音する外部入力を選択します。 マイク入力*：　外部マイクをつないだときに選びます。 オーディオ入力：　オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	23、24
フォーマット	本機に挿入されているメモリーカードを初期化します。メモリーカード内のすべてのデータを消去します。本機で初めて使用するSDメモリーカードはフォーマットすることをおすすめします。「本機でフォーマットが必要です」または「処理を継続できません」のメッセージが出た場合はフォーマットを行ってください。 はい：　「フォーマット中...」の画面が表示され、初期化します。 いいえ*：初期化しません。 **ご注意** • 本機で使うメモリーカードはパソコンでフォーマットしないでください。必ず本機で行ってください。 • フォーマットをすると保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	－

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

雑音について

- 録音中や再生中に本機を蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、雑音が入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

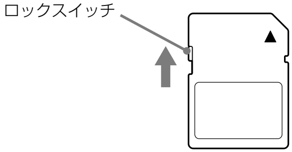
お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- 「本機でフォーマットが必要です」または「処理を継続できません」のメッセージが出た場合はフォーマットを行ってください。
- フォーマット(初期化)は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いてフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- 本機で初めて使用するメモリーカードはまずフォーマットすることをおすすめします。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードをフォーマットすると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音/再生/フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「しばらくお待ちください」の画面が表示されている間や、メモリーカードアクセスランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用できません。メモリーカードのロック(書き込み禁止)状態を解除するためには、メモリーカード上のロックスイッチを矢印方向へスライドさせて、解除してください。



- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損（消滅）については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

本機の仕様

ご注意
本機は、メモリーカード録音専用機器です。内蔵メモリーは搭載しておりません。

周波数範囲
75 Hz ～ 20,000 Hz

録音フォーマット
音声圧縮形式(コーデック):MP3
　ビットレート:192 kbps
　サンプリング周波数:44.1 kHz
　拡張子:.mp3

再生出来るファイルの種類
音声圧縮形式(コーデック):MP3*
　ビットレート:32 ～ 320 kbps
　(可変ビットレート(VBR)対応
　サンプリング周波数:
　16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
　拡張子:.mp3*

スピーカー
直径36 mm

入・出力端子
外部入力(ステレオミニジャック)
　プラグインパワー対応
　最小入力レベル:1.0 mV
DC IN 3Vジャック(極性統一形プラグ)
SDメモリーカード対応スロット
ヘッドホン(ステレオミニジャック)
　負荷インピーダンス:16 Ω～ 300 Ω

実用最大出力
330 mW

電源
DC3 V、単4形アルカリ乾電池(付属) 2本
DC2.4 V、単4形充電式ニッケル水素電池
　(別売) 2本
DC 3V ACアダプター (別売)使用時

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法(最大突起部含まず)
約116 mm×28.5 mm×78 mm
(幅／高さ／奥行き)(JEITA**)

質量
約145 g (単4アルカリ乾電池2本含む)
　(JEITA**)

* すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
** 電子産業技術協会(JEITA)の測定方法に基づいています。

本機に付属のSDメモリーカードの容量（ユーザー使用可能領域）
2 GB（約1.8 GB = 1,932,734,976 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

付属品
6ページ参照

別売アクセサリー
オーディオコード　RK-G136、RK-G139
ヘッドホン　MDR-EX60LPなどの
　MDR-EXシリーズ
ACアダプター　AC-E30L
ニッケル水素電池専用充電器
　BCG34HSS
充電式ニッケル水素充電池単４形
　NH-AAA-2BKB
ニッケル水素電池専用充電器・充電池
　セット　BCG34HS24K

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間[*1*2]

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

SDメモリーカード				
2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間

*1 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間をご確認ください。

*2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

電池の持続時間

乾電池の持続時間[*1]（ソニーアルカリ乾電池LR03 (SG)を連続使用時）

録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時
約32時間	約13時間	約31時間

充電式電池の持続時間[*1]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAA-2BKBを連続使用時）

録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時
約22時間	約10時間	約20時間

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

*2 音量レベルを14に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではメモリーカードレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

商標について

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- SD、SDHC、microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口（裏表紙）までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、45ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは

症状	原因／処置
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、雑音が入ることがあります。 • 外部マイクで録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • 録音時の一時停止でも雑音が入ることがあります。
電源が切れない。	• 「電源オフ」の画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままにする（17ページ）。
電源が入らない。	• 電源がオフになっている。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままにする（17ページ）。 • 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない（11ページ）。 • 新しい電池に交換する。（11ページ） • 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。

症状	原因／処置
電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま30分以上放置しているとオートパワーオフ機能が働きます。
起動に時間がかかる。	• ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
本機が動作しない。	• メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）している。 → 本機でフォーマットを行ってください（38ページ）。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池が消耗している（12ページ）。 • 電源がオフになっている。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままにする（17ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドする（10ページ）。
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている（27ページ）。 • ヘッドホンをつないでいる（28ページ）。
ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。
「メモリーが一杯です」が表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去して（31ページ）、日付整理を行うか、新しいメモリーカードに差しかえてください。
「ファイルが一杯です」が表示され、操作できない。	• 不要なファイルを消去して（31ページ）、日付整理を行うか、新しいメモリーカードに差しかえてください。
録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。
再生音量が小さい。	• 音量が絞られている。 → 音量＋／－ボタンを押して音量を調節する（27ページ）。 • できるだけ音源に近づけて録音してください。

症状	原因／処置
ほかの機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• ほかの機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
メモリーカードが認識されない。	• メモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
録音開始日時表示が「----年--月--日」「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
電池の持続時間が短い。	• 44ページの電池の持続時間は、音量レベルを14で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る（17ページ）か、電池をはずしておくことをおすすめします。
フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのExplorerまたはMacintoshのデスクトップを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
「しばらくお待ちください」の画面表示が消えない。	• ファイル数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド／ホールド中解除してください	• 本機が誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください（10ページ）。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• 本機が対応していないメモリーカードが使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください（15ページ）。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。メモリーカードのロックを解除してください。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。本機ではお使いいただけません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。不要なファイルを消去して（31ページ）、日付整理を行うか、新しいメモリーカードに差しかえてください。
ファイルが一杯です	• 全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。不要なファイルを消去して（31ページ）、日付整理を行うか、新しいメモリーカードに差しかえてください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生ができません。
ファイルがありません	• 1件もファイルが録音されていません。
本機でフォーマットが必要です	• メニューでメモリーカードのフォーマットをしてください（38ページ）。パソコンでフォーマットしないでください。

メッセージ表示	原因
処理を継続できません	• 一度電池をはずし、再度入れ直してください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください(38ページ)。
電池残量がわずかなため実行できません	• 電池が残りわずかのため、フォーマットや日付整理、消去ができません。新しい単4形乾電池と取り換えてください。
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。本機が対応しているファイル形式(拡張子)は、MP3(.mp3)となります。詳しくは本機の仕様をご覧ください(42ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	• メモリーカードが後発不良になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限(1 GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていません。メモリーカードを挿入してください(14ページ)。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。
日付整理対象のファイルがありません	• 日付整理の対象となるファイルがひとつもなく、機能が実行できません。
いくつかのファイルが整理できませんでした	• 日付整理の結果、日付順に並ばないファイルがありました。
いくつかのファイルが消去できませんでした	• 日付指定消去した結果、消去できないファイルがありました。
このファイルは消去できません	• 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっているため、消去できませんでした。
録音してください	• ファイルが1件も録音されていません。

表示窓について

停止時



1 本機の操作状態

2 録音開始日時

ヒント
他機器で録音したファイルの場合、1段目にフォルダ名、2段目にファイル名が表示されます。

3 メモリーカード表示

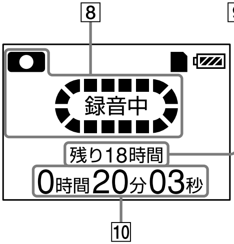
4 電池マーク

5 ファイル情報表示
録音されたファイルの番号(同日に録音されたファイルの中で、何番目に録音されたファイルかを示します。)／同日に録音された全ファイル数

6 現在ファイルの経過時間

7 録音可能な残り時間

録音時

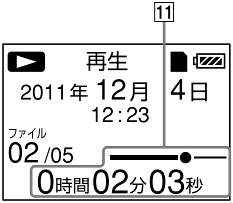


8 本機の操作状態

9 録音可能な残り時間

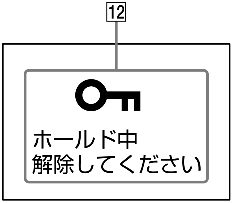
10 録音経過時間

再生時



11 現在ファイルの経過時間／バー

ホールド状態時



12 ホールド表示
誤操作防止（ホールド）状態になっているときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。ホールドを解除するには、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします（10ページ）。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

分解禁止



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。
電池の種類については電池本体上の表示をご確認ください。

充電式電池
単 4 形ニッケル水素 (Ni-MH)

乾電池
単 4 形アルカリ

⚠危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電器の取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRC ホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ IC レコーダー・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.jp/support/ic-recorder）
  メモリーカードレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［メモリーカードレコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：ICD-LX30
    - シリアルナンバー：電池ボックス内
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口	フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話・	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話・	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China

* 4 2 9 2 5 1 5 0 4 * (1)